

何かが始まる春に

春が来ました。学校や職場には新しい人たちが、雪の下からは一斉に芽吹く草花の新しい息吹が。幾つになってもこの季節は、新しい教科書を開く時のように心が躍ります。この施設もそうありたい。

4月1日、南魚沼市「事業創発拠点」がJR六日町駅構内にオープンしました。当市出身で、株式会社アルプス技研の創業者 最高顧問 松井利夫様からの高額なご寄付を活用させていただき、国の地方創生推進交付金も使って市が新設しました。「起業家が生まれないければ地域の発展はない」という氏の思いに共鳴して開始した「南魚沼市チャレンジ支援事業」では、すでに選考された若者たちが起業し、動き出しています。今後は、その伴走支援、さまざまなセミナーや就業イベントなどの場として。また、移住定住を希望・検討する人のテレワーク（場所や時間にとらわれない働き方）や、ワーケーション（四季折々の自然体験やスポーツを楽しむつつ滞在して仕事もする）の場としても提供します。氏からは、「自然

に恵まれた故郷は可能性に満ちている。リゾートオフィス・田園都市構想をめざしてみては？」のご提案も。まさにそのベースキャンプが立ち上がったという思いです。

この場所を核として、さまざまな事業に挑んでまいります。まずは市民のみなさんに、ぜひご覧いただきたい。行政施設らしからぬ空間に驚くかもしれません。

器はできましたが、そこに魂を吹き込むのは人。多くの企業や故郷を思う未来志向のみなさんに利用していただきたい。例えば、すばらしい講師陣の話の聞いたたり、会議やセミナーの後にドリンク片手に更なる議論に盛り上がったりと、時間を忘れるような場所になつてほしい。立地は学生・生徒なども利用する駅構内。「大人たちが何か始めた！」そんな空気を彼らを感じ取り、一歩足を踏み出す。そんな息吹の拠点になれば。みなさんからこの施設の愛称を募集します。みんな考えて、南魚沼の思いを表す名前に。ご応募をお待ちしています。

国際大学留学生 お国自慢コーナー ~ boast of my country ~

シリーズ
第108回

フィリピン共和国

メアリー ルース オチャビリョさん



私の国はこんなところ

フィリピンは「東洋の真珠」と称されるほど魅力的な国です。街や自然の風景、生物の多様性に富んだ島々など、観光スポットはあふれるほどあります。7,641の島々を領有する島国で、手付かずの自然が残るビーチ、雄大な滝、緑豊かな山々、そして火山地帯には温泉と冷泉もあります。街を離れ、遠くへ足をのばすとフィリピンらしい体験ができます。ビーチ、島巡りやキャニオニング、サーフィン、ハイキングなどアクティビティもたくさん楽しめます。



南魚沼市に住んで感じたこと

南魚沼のはっきりとした季節の変化が大好きです。熱帯の国から来て、季節ごとの彩りに魅了されました。夏は水無川につかったり、渓谷をサイクリングしたりしました。秋には紅葉と新米を楽しみました。冬には雪に覆われた街が、まるで魔法にかけられた映画のワンシーンのようで、その神秘的な美しさに驚きました。待ちに待った春に、友達や家族とお花見をしたことが一番の思い出です。南魚沼での無数の思い出はこれからも大切にします。感謝のきもちでいっぱいです。

編集後記

4月1日。いよいよ今日から新生活がスタートする人も多いのではないのでしょうか。どの企業も、緊張して入社式に臨む新人の皆さんが春の風であり、大きな期待を寄せていることでしょう。

長く続く、新型コロナウイルスからの春が早く訪れることを願っています。(K.M)

今月の表紙

3月19日(土)~21日(月・祝)の3日間、銭淵公園で南魚沼イベント実行委員会(一般財団法人SOUTH UONUMA LABO内)が主催する「南魚沼ナイトイルミネーションヒカリの遊園地」が開催されました。

訪れた人は、光と音の演出で普段とは異なる幻想的な様子の公園に驚き、光るアトラクションなどを楽しんでいました。

市民の動き 令和4年2月末日現在 ()は対前月比

○人口 54,481人(-57) / 男 26,652人(-35) 女 27,829人(-22) ○世帯数 20,102戸(-6)